

一般社団法人
豊岡観光イノベーション

決算書類

第4期

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

事業の概要と成果

豊岡市の2019年の外国人延べ宿泊者数は63,648人泊と過去最高となり、前年と比較して17.2%の伸びとなりました。日本全体では、前年比7.6%増で10,143万人泊と過去最高となりましたが、豊岡市は、国の伸び率を大きく上回る伸びを達成することができました。

国別にみると、台湾などの東アジア地域が上位を占めましたが、年間で最も増加率が高かったのはアメリカ(前年比59.1%増)となりました。WEBサイト「Visit Kinosaki」を通じたWEBマーケティングが効果的な集客に結びついています。2019年からターゲットとした台湾は、7月から開始したSNSやWEBメディアでのプロモーションによる成果(前年比43.8%増)を出すことができました。一方、2018年には好調であったフランスは、瀬戸内国際芸術祭開催の影響を受け、苦戦(前年比15.5%減)しました。

ラグビーワールドカップ日本大会を契機としたプロモーションをメディア広告、WEB広告、Facebook広告などで展開しました。主な出場国(アメリカ、フランス、オーストラリア、イギリス、イタリア、カナダ、ニュージーランド)における期間中(9~11月)の外国人観光客は、日本全体で前年同時期比33.0%増に対して本市は4,205人泊で43.8%増となり、10ポイント以上上回る成果につなげることができました。

今期の経営方針として、①外国人観光客向けWEBサイト「Visit Kinosaki」の更なる流入増を進める、②メディアへの露出を増やし、認知を拡大する、③海外旅行会社の商品造成を促進する、④外国人観光客の地域内の周遊を促し、平均泊数を拡大する、などを掲げて、取り組み、積極的な事業展開により、大きく成果を上げることができました。

WEBサイト「Visit Kinosaki」については、ユーザー数が前年比22.2%増となり、22.7万人がサイトに訪問しました。特に広告を除く流入が前年比35.8%増とサイトの実力が躍進した年となりました。

メディアへの露出については、前年比24.71%増の212媒体で広告換算額2億409万円以上の成果となりました(広告換算できたのは77媒体)。また、海外旅行会社への働きかけによる旅行商品造成も進み、34のツアーが造成されました。外国人観光客の地域内の周遊を促し、平均泊数を拡大する活動として、地域の7事業者と連携し新たに13の体験プログラムを作り、既存の体験プログラムと合わせて、132名に参加いただきました。昨年度の参加者数は53人に対して、大きく参加者を増やすことができました。

以上の結果、損益状況は、営業損失1,566千円、営業外収益7,803千円となり、当期経常利益は6,069千円、税引後の当期純利益は、5,987千円となり、累積赤字を解消しました。

以上、関係者の皆様方のご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組みました。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

平成28年6月1日（水）

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員

理事長 中貝 宗治

副理事長 前野 文孝

事業本部長 藤田 尚宏

理事 村瀬 茂高

桐山 徹郎

倉橋 建

宮垣 健生

高宮 浩之

武田 和徳

大社 充

小林 辰美

監事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事、派遣職員） 1名

派遣職員 3名

嘱託・臨時職員 4名

5. 基金拠出額

28,700 千円

決 算 報 告 書

第 4 期

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月 31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション
貸借対照表
2020年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	32,838,475	I 流動負債	6,111,835
1 現金	28,798	1 未払金	1,803,804
2 預金	14,362,195	2 未払法人税等	82,000
3 売掛金	0	3 預り金	25,896
4 前払金	0	4 仮受金	2,937,035
5 立替金	0	5 未払消費税等	1,263,100
6 未収入金	18,447,482	II 固定負債	0
II 固定資産	3,459,948	負債合計	6,111,835
1 有形固定資産	166,614	純資産の部	
・一括償却資産	166,614	I 純資産	30,186,588
2 無形固定資産	293,334	1 基金	28,700,000
・ソフトウェア	293,334	2 利益剰余金	1,486,588
3 投資その他の資産	3,000,000	・繰越利益剰余金	1,486,588
・差入保証金	3,000,000	純資産合計	30,186,588
資産合計	36,298,423	負債・純資産合計	36,298,423

(一社)豊岡観光イノベーション

損益計算書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上		
1) Visit Kinosaki 手数料	919,360	
2) ツアー 等 売 上	7,582,727	
3) 視 察 売 上	603,782	
4) 会 費 収 入	1,475,000	小計 10,580,869
5) 委 託 料 収 入		
・ Visit Kinosaki 運用	3,894,000	
・ 神鍋インハウントプロジェクト	3,423,475	
・ 欧米豪 BtoB マーケティング	1,457,815	
・ インバウンド体験プログラム強化事業	1,540,000	
・ インバウンド地域連携事業	931,700	
・ インバウンド受入体制構築事業	898,700	
・ 繁体字 SNS 運用事業	1,400,000	
・ 台湾メディア掲載事業	1,000,000	
・ ITB ベルリン 出展事業	1,041,200	
・ 但馬周遊モデルルート作成業務	220,000	
・ 観光施策評価指標データ収集	1,925,000	
・ 閑散期団体誘客拡大事業	11,000,000	
・ 創石ツアーバス強化事業	655,600	
・ 出業支援セミナー	1,000,000	
・ フラップトヨオカ管理運営	393,840	小計 30,781,330
	41,362,199	
II 売 上 原 価		
1) ツアー 関 連 経 費	5,363,252	
2) 委 託 料 関 連 経 費	8,235,000	
3) 視 察 関 連 経 費	13,000	
4) 体 験 関 連 経 費	643,087	
	14,254,339	
III 売 上 総 利 益	27,107,860	
IV 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費		
1) 給 料 手 当	7,447,429	
2) 賞 与 手 当	1,184,700	
3) 法 定 福 利 費	1,291,464	
4) 広 告 宣 伝 費	5,888,418	
5) 旅 費 交 通 費	1,666,022	
6) 交 際 費	296,366	
7) 会 議 費	101,886	
8) 車 両 費	113,451	
9) 通 信 費	432,612	
10) 水 道 光 熱 費	272,402	
11) 租 税 公 課 費	68,650	
12) 消 耗 品 費	512,117	
13) 共 益 費	240,000	
14) 賃 借 料	1,392,000	
15) リ 一 ス 料	736,342	
16) 修 繕 費	77,960	
17) 保 険 料	117,275	
18) 支 払 手 数 料	2,241,201	
19) 諸 会 費	11,350	
20) 減 価 償 却 費	264,182	
21) 委 託 費	3,000,000	
22) 研 修 費	54,879	
23) 消 費 税 等	1,263,100	
	28,673,806	
営業 業 利 益	▲ 1,565,946	
V 営 業 外 収 入		
1) 受 取 利 息	188	
2) 市 補 助 金 収 入	6,283,111	
3) 県 補 助 金 収 入	304,000	
4) 雑 収 入	1,215,616	7,802,915
V 営 業 外 費 用		
1) 支 払 利 息	16,422	
2) 雑 損 益	151,942	168,364
経 常 利 益	6,068,605	
税 引 前 当 期 純 利 益	6,068,605	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	82,028	
当 期 純 利 益	5,986,577	

個 別 注 記 表

自 平成 31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

- 1.この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
- 2.重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1)固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産・・・定率法
 - 無形固定資産・・・定額法
 - (2)消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。